



社会福祉法人岡山博愛会様に対する

『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス』第1回モニタリングの実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、2024年1月20日（水）に実行した岡山支店取引先 社会福祉法人岡山博愛会（岡山県岡山市中区江崎 理事長 更井 哲夫）向け『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス』に対し、第1回目のモニタリングを実施しましたのでお知らせします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスにおけるモニタリングでは、融資実行時に発行したポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書に掲げる、お客さまのマテリアリティ（重要課題）を解決するための取組方針と、その達成度合いを測定する KPI（重要目標達成指標）に対し、進捗状況の確認と、KPI 達成に向けた各種支援を実施します。本件モニタリングを通じて、お客さまのサステナブル経営を一層推進します。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

記

■企業の概要

会 社 名 社会福祉法人岡山博愛会
所 在 地 岡山県岡山市中区江崎 456-2
業 種 病院

【サステナブルな取組み】

岡山博愛会の生みの親、アリス・ペティ・アダムス先生が大切にした「全ての人を愛する神の愛」ラヴィング・オールを全ての職員が胸に刻み、日々の業務にて実践しています。質の高い社会のニーズに対応した医療・介護の提供を通じ、皆さんに健康と安心を届けます。



※社会福祉法人岡山博愛会の「ポジティブ・インパクト・ファイナンス第1回モニタリング報告書」については、別紙をご参照ください。

以 上

社会福祉法人岡山博愛会

ポジティブインパクトファイナンス

第1回モニタリング報告書



2025年2月28日



いい出会い ふくらむ未来
百十四銀行

目次

1. 社会福祉法人岡山博愛会の企業概要.....	2
2. 目標達成に向けた進捗状況	3
3. 総評.....	5

1. 社会福祉法人岡山博愛会の企業概要

企業名	社会福祉法人岡山博愛会
創立	1891年
代表者名	理事長 更井 哲夫
基本金	2億6,000万円
従業員	519 人（2025年1月末）
売上高	41億円（2024年3月期）
事業拠点	岡山博愛会病院 〒702-8005 岡山市中区江崎456-2 御幸町クリニック 〒703-8295 岡山市中区御幸町4-1 介護医療院 みくに 〒702-8005 岡山市中区江崎456-2 特別養護老人ホーム アダムスホーム 〒702-8001 岡山市中区沖元502 養護老人ホーム 岡山市友楽園 〒703-8282 岡山市中区平井4-13-33 岡山博愛会居宅介護支援事業所 〒703-8296 岡山市中区さくら住座10-1 デイサービスセンター ハレルヤ 〒703-8296 岡山市中区さくら住座10-1 訪問看護ステーション サマリア 〒703-8296 岡山市中区さくら住座10-1 訪問介護ステーション ホサナ 〒703-8282 岡山市中区平井4-13-33（養護老人ホーム 岡山市友楽園内 1F） 看護小規模多機能型居宅介護 のぞみ 〒703-8295 岡山市中区御幸町4-1 グループホーム まこと 〒703-8295 岡山市中区御幸町4-1 岡山博愛会保育園 〒703-8295 岡山市中区御幸町4-12

2. 目標達成に向けた進捗状況

項目	内容
インパクト	カーボンニュートラルの推進～自然も愛す～
内容・対応方針	太陽光発電設備導入、空調設備更新 環境啓発イベントの開催、グリーンカーテンの設置
KPI	2030年までに使用電力の40%を再エネに（2023年1月時点：0%） 環境啓発イベントを年13回開催
KPI進捗状況	空調設備の更新により、電力使用量を大幅に削減できている。バックヤードにおける照明のLED化にも今年度中に着手する予定で、さらなる消費電力の削減に注力する 太陽光発電からの電力供給も問題なく行っており、全使用電力中の再生可能エネルギー利用率も13%に向上している キャンドルナイト等の環境啓発イベントも継続して開催している

項目	内容
インパクト	笑顔になれるリハビリテーション
内容・対応方針	回復期リハビリテーション提供能力の強化 グループ内外との連携を活かした医療・介護サービスの提供
KPI	2030年までに独自の食事機能リハビリテーションAeE（activities to enjoy eating:当院独自の経口摂食機能回復リハビリテーション）のべ300人実施 2025年までに在宅リハビリテーション拠点を新設 （拠点設置後は、改めてKPI・目標を設定予定）
KPI進捗状況	口腔ケアが診療報酬点数に加算される改定が行われたこともあり、AeEの提供を積極的に行っている また、デイケア施設の建設を行っており、そこを拠点としてリハビリに加え、往診や訪問看護などをセットにして提供することで在宅医療の充実を図ることになっている 法人内に営業部を新設し、協力医療機関数の拡大を図ることで、入院患者数の増加につながっており、リハビリ提供数が大幅に増加している。今後も協力医療機関からの入院患者受け入れを増やし、質の良いリハビリを多くの方に提供することで、地域の健康寿命延長に貢献していく

項目	内容
インパクト	病気を防いで笑顔を守る
内容・対応方針	重症化予防医療・リハビリテーションの提供 健康意識啓発活動の強化
KPI	2025年までにインフルエンザ・がん検診割引を行う会員制度設立 市民の健康増進や生活習慣改善を企図した公開講座「なんでも勉強会」・「おでかけ健康教室」をそれぞれ年間12件開催
KPI進捗状況	2025年1月に「健康はつらつクラブ」を設立 予防接種・検診割引に加えて2月に集会を開き、テーマ別の講演会とリハビリ体操を参加者と行うことで、健康意識の醸成を行う。健診受託企業等へ広報し、会員数増強を図る 公開講座は計画通り開催中

項目	内容
インパクト	安心して活躍できる職場づくり
内容・対応方針	健康経営強化と業務負担の見直しによるエンゲージメント向上 新規スタッフの採用と人員配置の適正化による業務効率化
KPI	2025年までにブライツ500認証取得 (認証取得後は改めてKPI・目標を設定予定)
KPI進捗状況	健康経営優良法人認証取得に向けて、必要な社内規定を整備中 職員の業務に対するモチベーション向上を図り、各種手当の制度を設定 業務への集中力とスキルを向上させ、残業時間も大幅に削減できている

項目	内容
インパクト	病院機能のDX化と信頼性向上
内容・対応方針	DX化による病院事務の効率化と確実化 病院機能評価取得による医療の品質向上・安定化と対外的評価の向上
KPI	2030年までに事務従事時間を2023年比30%削減 2025年までに病院機能評価取得
KPI進捗状況	労務管理や入退室などのセキュリティ管理を一つのシステムに統合しており、事務量の削減につながっている。その一方、電子カルテは導入せず、あえて手書きとすることで医療スタッフが医療行為に集中でき、事務職員が一括して患者データを管理することで効率的な情報管理を実現している。 病院機能評価については、マニュアルの整備や会議等の議事録を継続的に作成することで、いつでも評価取得ができる体制を整えている。

3. 総評

早期達成が見込まれる目標もあり、インパクトへの取組みは全体的に活発である。他の病院には珍しい営業部の設立による積極的な入院患者の獲得や会員制度の設立などを通じ、地域におけるリハビリ拠点としての機能強化と健康意識醸成に向けた動きが加速している。

働き方や環境負荷軽減などについても、職員のモチベーションアップや省エネ化や再エネ活用推進など、今まで手を付けていなかった分野への対策にも乗り出し、効果を上げている。

百十四銀行も、ビジネスマッチングを通じた環境負荷軽減につながるサービスの紹介や、福利厚生支援、取引先企業への当法人会員制度の紹介等の支援を行い、当法人のマテリアリティへの取組みをさらに加速させていきたい。